

## 平成 22 年度 室内環境学会第 5 回役員会議事要旨

日 時：平成 22 年 12 月 8 日（水）15:00～16:30  
場 所：横浜市開港記念会館 4 号室  
出席者：小野、中井、川上、篠原、柳沢、東（以上実  
出席）、櫻田（委任出席）  
オブザーバー：雨谷、関根  
事務局：中島、松村、色摩  
監 事：斎藤  
欠 席：池田、柳、野崎  
議事次第

### 1) 平成 22 年度事業報告

小野会長より、会員数の推移、総会・研究発表  
会、学会誌及びニューズレターの発行、役員会・  
評議員会及び講演会の開催等について報告があ  
った。会員数は昨年とほぼ同数を維持した。

### 2) 委員会報告

学術委員会：中井学術委員長より、メール会議の  
開催、学生懇談会の開催及び分科会活動等につ  
いて報告があった。

出版委員会：川上出版委員長より、川上出版委員  
長より今年度の学会誌が予定通り発行されたこ  
とに加え、ETS 個人曝露量測定マニュアルが別冊  
として発行されることが報告された。発行は 12  
月中、発送は 1 月 12 日の予定とされた。また費  
用負担については、柳沢研究室から支払うことと  
された。

標準化委員会：柳沢標準委員長から申請中の「家  
庭用空気清浄機によるカビ孢子除去性能の評価  
試験法」の審議状況、「室内環境学会標準法」の  
商法登録について報告があった。

事業委員会：報告書に基づき小野会長から室内環  
境学概論の発行、講演会及び永年賞の設立につ  
いて報告された。

社会連携委員会：報告書に基づき、台湾病態建築  
診断協会との提携に関する状況が報告された。

広報委員会：篠原広報委員長より、バナー広告の  
開始、パンフレット・ポスターの作成および学会  
論文の電子化等について報告があった。ホームペ  
ージの管理会社の変更について質問があり、引き  
継ぎの予定、ホームページの更新等を含めて状況  
が報告された。

九州支部：報告書に基づき、大気環境学会と合同  
で開催した研究発表会で 80 名の参加があったこ

と、学校薬剤師を対象とした講演会を開催予定で  
あること等が報告された。

東北支部：報告書にも続き、チャンバー実験の実  
施、シンポジウム開催について報告があった。

関西支部：東支部長より、初年度につき支部体制  
を構築したこと、また支部セミナーの企画案につ  
いて報告があった。

化学物質分科会：関根代表より 2 回の分科会及び  
シンポジウムの内容について報告された。

燃焼器具分科会：報告書に基づき報告があった。

事務局：小野会長より、報告書に基づき報告があ  
った。

### 3) 「室内環境学概論」発刊報告

川上委員長から「室内環境学概論」が 11 月 30  
日に発刊された旨報告があった。また会員割引販  
売、大会期間中での割引販売について紹介があ  
った。販売状況を見ながらシリーズ化をしたい旨  
発言があった。献本、非会員の著者への謝礼につ  
いて報告があり、他学会誌等へ書評を執筆するよ  
う依頼があった。

### 4) 平成 22 年度中間収支報告

松村会計より、平成 22 年 11 月 25 日現在におけ  
る中間収支報告があった。次年度繰越金を 227 万  
円程度見込んでいるとの報告があった。微生物分  
科会の支出について質問があったが、H22 年度第  
2 回役員会で承認された H21 年度決算時の支出過  
多に対する補填であるとの説明があった。H21 年  
度中間決算では相当の赤字が見込まれたものの、  
最終決算では黒字化したことを踏まえ、中間決算  
段階での未確定部分を実態に近い額で想定でき  
るようにしたとの説明があった。

### 5) 会則改正に対するパブリックコメントについて

中島事務局長より、特にコメントは届かなか  
ったため原案通り評議員会・総会にて審議にかけ  
るとの説明があった。

### (報告) 平成 23-24 年度会長選挙結果

事務局長より、次期会長選挙（選挙管理委員  
長：平野耕一郎）について報告があり、小野雅司  
会員が次期会長に信任された旨報告があった。

6) 平成 23 年度事業計画案

小野次期会長より、各委員会等の具体的な活動計画については新委員会で立て、役員会で審議して策定する旨発言があった。また新委員会の設置に伴い、各委員会の所掌に関する整理を予定しているとの発言があった。

7) 平成 23 年度予算案

小野会長より、次期予算案の提案があり、いくつかの事実確認をしつつ若干の修正が施され、別添の案が了承された。柳沢委員長より商標会員の会費について発言があり、入会当初は 5 万円から提案するとの説明があった。また中井大会長から学術大会の決算見込みについて簡単に説明があった。

に決定した旨報告があった（選考委員長：山口一）

6) その他

・小野会長より、次年度学術大会は雨谷敬史次期標準化委員長にお願いする旨報告があった。続いて雨谷大会長より挨拶があり、静岡で開催するが、会場・日程は現時点では未定とのこと、可能であれば近隣諸国との連携を探りたいとの発言があり、社会連携委員会とも協力するよう提案があった。また大会開催後の支部設立も検討するよう依頼があった。

・最後に中井大会長より、平成 22 年度学術大会の概要と注意事項について説明があり、定刻通り終了した。

以上

(報告)

・新評議員立候補状況

事務局より、評議員の改選にあたり、新任評議員候補者が紹介された。また、評議員の定数に関連し、評議員が役員に任命された場合には、そのあいだ評議員の資格を停止する、との解釈が事務局から示された。本件について審議の結果、次々回の会則改正の機会に会則に明記すること、それまでは本解釈に基づいて運用することが確認された。

・新役員紹介

小野次期会長より次期役員等が下記の通り紹介された（支部長は現時点のもの）。

会長：小野雅司、副会長：中井里史（事業担当）・東 賢一（学術担当）、学術委員長：東 賢一、出版委員長：関根嘉香、標準化委員長：雨谷敬史、事業委員長：柳 宇、広報委員長：篠原直秀、社会連携委員長：中井里史、商標管理委員長：柳沢幸雄、九州支部長：樺田尚樹、東北支部長：野崎淳夫、関西支部長：東 賢一、事務局長：中島大介、会計：松木秀明、監事：斎藤育江。

・表彰関係

室内環境学会永年賞として、ジーエルサイエンス株式会社、内藤環境管理株式会社、株式会社ガステック、柴田科学株式会社、日本たばこ産業株式会社、東邦化研株式会社の 6 社が表彰される旨報告があった。

平成 22 年度室内環境学会賞論文賞は、池田四郎ら著「海洋性発光バクテリアの生物発光阻害を利用した室内微粒子汚染のバイオモニタリング」

(別添)

平成23年度予算(案)

歳入		単価	数	決算
適用	内訳			
前年繰越金				¥2,271,714
年会費(H22年実績)				
	一般会員	¥5,000	443	¥2,215,000
	法人会員	¥30,000	56	¥1,680,000
	学生会員	¥1,000	59	¥59,000
	商標会員	¥50,000		
未収金回収				
雑収入	学会誌販売、他			¥50,000
シンポジウム				
学術大会				¥2,500,000
広告収入	学会誌			¥200,000
	ホームページ			¥100,000
計				¥9,075,714

歳出		単価	数	決算
適用	内訳			
委員会活動費	出版委員会			¥100,000
	学術委員会			¥100,000
	標準化委員会			¥100,000
	広報委員会			¥100,000
	社会連携委員会			¥100,000
	事業委員会			¥100,000
	商標管理委員会			¥100,000
支部活動費	九州支部			¥100,000
	東北支部			¥100,000
	関西支部			¥100,000
分科会活動補助	化学物質分科会			¥50,000
	燃烧機器分科会			¥50,000
	微生物分科会			¥50,000
学術大会費用				¥2,500,000
印刷費	学会誌	¥850,000	2	¥1,700,000
Webサイト管理費				¥200,000
事務費、通信費				¥1,280,000
雑費				¥100,000
予備費				¥500,000
次年度繰越金				¥1,645,714
計				¥9,075,714